

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公開番号】特開2020-10921(P2020-10921A)

【公開日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-003

【出願番号】特願2018-136470(P2018-136470)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月22日(2020.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出用識別情報の可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示の開始時から所定期間にわたって演出用識別情報を特定態様で停止表示する特定演出を実行可能であるとともに、該特定演出とは異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する特別演出を可変表示が開始されるときに実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、前記特定演出を複数の態様で実行可能であり、

前記特別演出は、所定表示を表示し該所定表示を用いた所定動作を行い該所定表示の表示態様を特別態様とする演出であり、

前記演出実行手段は、前記特定演出を実行するときに、前記所定期間の経過後に前記特別演出を開始可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段1に記載の遊技機は、

演出用識別情報(例えば、飾り図柄)の可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

可変表示の開始時から所定期間にわたって演出用識別情報を特定態様で停止表示する特定演出(例えば、フリーズ演出)を実行可能であるとともに、該特定演出とは異なる演出であって前記有利状態に制御されることを示唆する特別演出(例えば、カウントダウン演出)を可変表示が開始されるときに実行可能な演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120が図10-10に示す可変表示中演出処理を実行する部分)を備え、

前記演出実行手段は、前記特定演出を複数の態様で実行可能であり、

前記特別演出は、所定表示を表示し該所定表示を用いた所定動作を行い該所定表示の表示態様を特別態様とする演出であり、

前記演出実行手段は、前記特定演出を実行するときに、前記所定期間が経過後に前記特別演出を実行可能である（例えば、カウントダウン演出とフリーズ演出の実行を決定した場合は、図10-9（B）に示すように、フリーズ演出の終了タイミングからカウントダウン演出を開始する部分）、

ことを特徴としている。